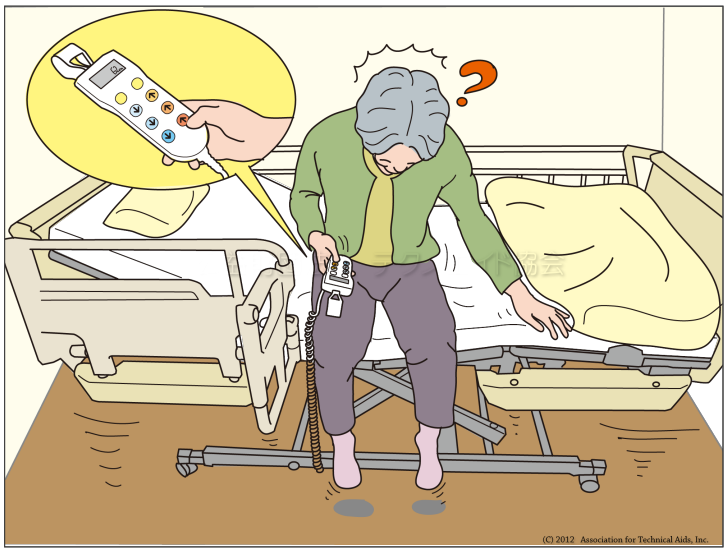
福祉用具ヒヤリハット　研修教材（講師用）

Case：196

操作ボタンの配置を間違って認識していたことで、誤操作をして転落しそうになる

場面の説明

病院で使用していたベッドと操作ボタンの配置が違っており、うろ覚えで操作したため、意図せぬ箇所が動いてしまった



利用シーン	起居・就寝 リモコン操作
主な利用場所	寝室
介護保険の種目	特殊寝台
分類コード (CCTA95)	181209 (電動ギャッチベッド)
介護テクノロジー	ー
二次元バーコード	

解説

手元スイッチの上下を逆さまに持ってしまい上下の矢印が反対になってしまうことで、適切な操作ができなくなることもあります。また、ベッドの機種が変更になることで、慣れていたボタン配置が換わってしまうこともあります。ベッドを提供する担当者も、「手元スイッチの操作は簡単だ」と決めつけず、丁寧に説明をし、場合によっては目印をつけて注意を促すなどの対応が求められます。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

人：思い込みで操作ボタンを押した
人：操作ボタンの配置が製造者で違うことを知らなかった
モノ：製造者で操作ボタンの配置などが統一されていない

作成：公益財団法人テクノエイド協会
Copyright 2026 Association for Technical Aids, Inc. All Rights reserved.